

委員長　それでは、質疑が終わりましたので、採決の前に御意見のある委員は挙手を  
お願いいたします。

なしということで、よろしいですか。かなり今ね、いろんな議論したから、  
今までとちょっと違うんで。では、なしということで、採決に入りたいと思っ  
ますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

採決に入ります。令和5年度松田町一般会計予算について、賛成の方の挙手  
を求めます。

賛成全員、令和5年度松田町一般会計予算につきましては、賛成全員で可決  
すべきものと決定いたしました。

お諮りいたします。報告書の作成について、どのような形にしたらよいでし  
ょうか。御意見のある方はお願いします。

内田委員　委員長の腹案みたいなものありますか。もしくは、附帯事項をつけるかどう  
か、何か。

委員長　じゃあ、私の考えでよろしいですか。そういう質問ですので。一応、始まる  
前に副委員長の平野副委員長に一応こういったものが懸案事項だねというの  
は、メモをとっていただきました。もし、よろしければ、それを読み上げ  
て、ここで少しよめたいなという考えがあります。そのようなことで、発  
表、大丈夫かな。

平野委員　メモといっても、私が聞いてて、これは大きいかなと思ったような感じ…。

委員長　その主観です、たたき台として。

平野委員　ちょっと皆さん、また漏れがあったら言ってください。

委員長　私と副委員長はすり合わせ全然できてないです。

平野委員　してないので。

委員長　副委員長の考えでメモをとりました。じゃあ、それについて発表させていた  
だきます。よろしくをお願いします。

平野委員　じゃあ、まず最初の歳入の部のところでは、やはり町税減っているというところ  
の対策としての御質問とかね、結構あって、ふるさと納税というところ

が、すごく何人かが気にされていたのではないかなというふうに感じました。  
それが1つあってもいいのかなというふうに思いました。

それからですね、歳出に行ってからではですね、ちょっと、このところ、すごい皆さんの関心がいろんなところに行ったので、大きいのかなって思ったのは、井上委員がおっしゃった、新モビリティサービスのことが、実験のところをさらに、その先までどうするんだっていう御意見…御質問だったので、この視点はちょっと大事なのかなと思い、また最後のね、大きな質問の中でももう一度取り上げてられましたよね。財政推計の中でどうなっていくんだと。その辺もあるので、一つこの新モビリティサービスについては何か一つ立てるべきなのかなというふうに感じたところです。

それからですね、次のところに行ってから、大きいというのがちょっと、私自身もちょっと気にしていたのは、水素・酸素発生機のエビデンスはどうなんだという井上委員の質問は、私もまさにそれ気にしていたんで、ただ、ちょっと附帯にまで入れるところでもないかなと思いましたが。あとは、そうですね、ちょっと広域ごみのことは、ここに入れていいのかが私自身も迷いますが、最後の財政推計の中にもまだ含まれてないというところが分かった…この間も言っていたのでね、その辺りを何かの形で入れられるのかなと思ったりしました。

あとは、午後…お昼前はこんなところだったかな。

あとは、午後になってからは、そうですね、午後になってからの部分では、やはりお昼前の委員長の林業に関する御質問と、それから最後の議長の全体通しての御質問がやっぱり今度農地のことでしたよね。何かその辺りが一つ同じ項目として立てられないかなというような気がしました。

私はそんなところです。

委員長 ありがとうございます。復唱させていただきます。平野委員が感じたこと、まず歳入面、町税の減収対策ですね、これについてどう考えるか。次に、新モビリティサービス事業、特に古谷さんあたりが心配したのが、勉強会で心配したのが、寄行のバス、なくなってしまうたらどうなるんだ。復活するのは大変

だと。すごい大きい問題で、私もこれはやはり一つ据えていいのかなと感じます。それと、広域のごみ処理、あと最後が農林業の振興ですね。この4点が平野さんは感じたことです。

これについてどうですか。ほかに、あとはこういうのがあるのではないかって、その意見を先に聞きたいと思います。今の4点以外に、これについてはどうだと、そういったものがありましたら挙手をお願いいたします。

では、私のほうからいいですか。まず1点が、古谷委員から出ました寄中学の問題、これがどうかなと。地域の方については結構大事な施設ですのでね、これについて皆さんと協議したいと思います。あとは、ジビエが難産の結果、加工施設ができた。皆さんテレビ見られたとおり、これからなんですよ。これはやはり農林業にも関係しますし、一つのポイントなので、ジビエをどうするか。あとは南口が少し動き始めた。詳細は控えさせていただきますけれども、地権者と交渉の土俵につけると。今までは南口の物件補償費と土地を計上しては流していた。それが今度、北口と連携してくるので、町道5号線の拡幅、これ辺りを早急に対応という考えもあるのかなということで、私の場合は平野委員の意見に加えて、寄中学校、あとジビエの加工処理施設、南口と北口の関係ですね、この3つをお話しすると、全部で7つになっちゃうよな。だから、この辺で皆さんで討議しながら、よじめて附帯意見、特に記すべきものを進めていきたいと感じますが、このような進行でよろしいでしょうか。

井 上 委 員 私の聞いた部分なんかもあるんですけども、将来のですね、ここでは予算書の、予算の審議に係る委員会報告ですので、将来構想というのとはちょっと除いたほうがね。ここで例えば継続的に事業に費用がかかるんだとかというものはね、いいんですけども、例えばモビリティサービスが5、6、7でやるとか、そういった部分はいいいんですけども、そうではなくて、将来構想の部分もですね、ここでは予算審査特別委員会の中で聞きましたけれども、附帯項目として入れていくというのは、ちょっと別ではないかなというふうに私は考えます。

委 員 長 ありがとうございます。ほかの方はいかがでしょう。5年度予算またはある

程度2か年継続、3か年継続予算で、それがつながっていくもの、そういったものに限って行って、将来構想的なものは、もう一切削除と。

井上委員 あとはだから寄中もね、どうなるんだということあるんですけども、それを附帯項目の中に挙げると、ここでは管理費用しかね、計上してない部分ですよ。前みたいに何とか協議会みたいなをつくるのであるかどうか分からないんですけども、そうしたものをつくる経費を載せたのであれば、じゃあその辺は地元との調整をとかね、そういった附帯項目も入れられますけれども、今の時点ではそこまでできてないので、ちょっと附帯項目で載せるのは除いたほうがいいのかなど。そういう意味です。

委員長 分かりました。あとはあれですね、今、私、南口で話したんだけど、これは消防と同じで、消防の分署と同じで、交渉事ですから、やはりあまり騒がないで、抑えたほうがいいなということで、南口の関係も取り消します。今の寄中も取り消させていただいて、残りが…そうだね、広域のごみ処理あたり。これについてはどうですかね。予算に関係するのは八百何十万の事務費とあれなんだよね。

平野委員 それだけなんだ。

委員長 これも削りましょうか。

議長 それもまだいいと思うな。

委員長 議員が参画するのは一部事務組合で、町長のは情報提供だから、絶えず頂けるといって、平野委員の質問には大体クリアしたと思うんで、よろしいですか。

そうすると、残ったのが歳入の町税の減少対策、新モビリティサービス、ジビエの加工施設の運営ですね、それと農林業の振興。4点ですか。これで多いかどうか。これで再意見にするか、まだ削るものがあるかどうか。これについてお諮りします。

井上委員 農業の振興というのは、予算的にはどの辺があったんだっけ。ちょっと予算書を見ないと。

委員長 議長の言ったのは、補助金関係でしたんですよね。ページで言うと117ペー

ジ見てください。117ページの中段ぐらいですね、負担金補助及び交付金の中で、新規就農者等担い手支援補助金90万、農業支援隊活動補助金20万、農機具電動化補助金20万、全部で130万ぐらい頭出しをしているんだけど、これでは足りないのではないかと。私のほうは林業費です。121ページから123ページの林業の振興に要する経費の中で、特に基金を取り崩してやるのが、机を買ったり、または伐採した木を再利用するためも必要かもしれないけど、それ以上、根本となる育てる、森林を育てるための事業に投資できないか。また、ナラ枯れの後には、これ伐採してるだけなんですけども、どういうふうにそこを豊かにして熊に戻っていただく、安全な奥山にしてもらおう。そのようなことで発言しています。それについて載せる必要があるかどうか。そういうことで、議長、よろしいですか。議長の農業のほうは。もっと農林業予算は、農業予算、持てと。

議長 加えとさ、農林水産業費1億930、約1億円の予算の中に、純然たるね、農林の関係の事業費というのは、半分なんだよね。あとは観光とかさ、寄のほらね、いろんな。そういうのがあるから、観光振興みたいな部分がかかなり多いわけよ。

平野委員 南雲委員も農林…じゃない、山林の経営管理意向調査というのでね、質問されているので、その辺も絡めたらどうかと思う。要するに、森林のこれからという部分で。

委員 長 育林という面で。地権者の確認をしてな。

平野委員 だから議長がおっしゃった農業のこれからと、南雲委員と委員長がおっしゃった林業のこれからという、何かそれがうまく文章的にうまくまとめればなと思うんですけど。あまりこれからの強調しちゃうと、予算から外れた…。

委員 長 そうなんだよ。この予算に対して。この予算に対してどうなんだと。

平野委員 予算から離れたことは言えないから。

委員 長 だから、一つは予算が少ない。減ってしまったと。議長のあれだとね。農業予算が。林業予算については、私が言った育林にもっと力を入れてくれと。そのことを入れるかどうかです。意味的には農林業の振興について、今のような言葉を入れるかどうか、いかがでしょうか。御意見をお願いいたします。

4点です。3点にするか、4点でいくか。

進みませんので、御意見をお願いいたします。

平野委員 本当にふわっとした言い方になるかもしれないんですが、農業については本当にこれがちょっと少なめだということは、ちょっと文章には入れないけども、農業については耕作放棄地がこれ以上増えないように。森林についても、森林がこれ以上荒れないようにというところで、最低限の予算だよと、今回の予算はね。それをしっかりと執行してほしいというか、そんな言い方しかできないのかなと思ったんですが。そういう言い方であれば入れられるのかなと思ったんですけど。

委員長 じゃあ、まとめさせてください。時間の関係もありますので。今、平野委員から意見のあったような、イメージとしてはそういうふうなことで、農林業の振興も含めて全部で4点でいくと。これでよろしいでしょうか。

井上委員 予算案について審議をした結果なんでね、ちょっとその辺は、それぞれの農業のですね、振興に対する会議とかね、林業の振興に対する委員会を行ってとかということであれば、そのぐらいでいいかもしれないんですけども、先ほども言ったように、予算が少ない、多いというのはね。

平野委員 こちらからつけられないものね。

井上委員 個別に言わないとね、もっと具体的に、ここで事業名で予算というのを計上してあるんでね、何とか事業についてはというふうに言わないとね、特別委員会の意見書としてはね、適当ではないのかなというふうに思います。

委員長 お諮りします。ただいま井上委員は、まだ途中経過なんだと。それで、もう少し様子を見るために、まだこれは入れなくていいんじゃないかという意見があったと思います。そのようなことで、農林業の振興は意見から取り外すという意見出ました。これについていかがでしょうか。

井上委員 取り外すんじゃなくて、もうちょっと具体的にね、例えばこの事業をもっと拡充させてほしいとか、という。

委員長 そういう意味か。はいはい、分かった、分かった。さっき聞いていたら、そういうことだから入れなくてもいいのかなと私は捉えた。入れるのであれば、

こういうところと。はい、分かりました。（私語あり）ちょっと黙ってください。

井上委員 拡充する事業名があれば入れるし、なければね。

委員長 私が進めます。ということで、しっかりした内容があれば入れるという御意見ですけれども、いかがでしょうか。

（「いいと思います。」の声あり）

議長 こういう言い回しじゃ駄目なわけ。例えば、農地保全の支援策の充実とかさ。

平野委員 こっちからは予算提唱権がないんですよ。予算の提唱権って、ないじゃないですか。議会側には。なので、そういうふうに言うのはちょっと、予算案に対してそういうふうに言うのは、ちょっとあれかな。井上委員がおっしゃるように、項目がはっきりしていて、これについて拡充してほしいとか、そういうふうになら言えるんだけど。

議長 そうすると、すごく幅が狭まれちゃうね。

平野委員 そうなんだよ、そうなんだよね。

委員長 今出た御意見で、幅が狭くなってしまう。一方で、予算に対する審議だから、やはり母体となる予算に対しての意見、それが2つが相反するんですけれども、確かに私の予算審査特別委員会の委員長の立場で言うと、議長のほうの意見はどちらかというと総合計画の格付け的なあれだよ。少し大きい考えだと思います。ですから、申し訳ないですけども、農業のほうのそれはやっぱり入れるには、ちょっときついなという感じします。どうですかね、議長。その辺で。

議長 ああ、いいですよ。

委員長 議長のお言葉、非常によかったんですけども、それは政策論として、町長としてはね、やりとりでよかったと思いますけど、ここの附帯意見は、取りあえず留保させていただくと。私のほうの林業も、強いて入れるとなると、林業、具体的に予算も出てますから、それを入れるかどうか。それはちょっとね、3つを並べた後に考えさせていただいて、正・副委員長預かりということで、一度暫時休憩させていただいて、その後にお示しして討議すると、このように進めていきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

では、暫時休憩とします。少し時間かかりますので、早くて3時半、遅ければもっとかかります。ということで、30分以上の休憩とさせていただきます。

(14時55分)

委員長 では、再開いたします。(15時40分)

それでは、たたき台ということで、正・副委員長で作りましたので、事務局、初めに朗読をお願いします。

議会事務局長 案。令和5年3月10日、松田町議会議長 飯田一殿。一般会計予算審査特別委員会委員長 田代実。

一般会計予算審査特別委員会報告書。本委員会は、3月10日に委員6名中6名全員出席のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和5年第1回議会定例会において付託された議案第13号令和5年度松田町一般会計予算について慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。

昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減額となっており、町債の予算額も平成20年度以降で最少となっている。その中においても、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。

なお、予算執行に当たっては、次の事項について申入れをします。

(1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと納税の充実や人口減少対策など、財源の確保に努められたい。

(2) 新モビリティサービス推進事業は、高齢社会での交通対策として期待される事業だが、公共交通事業者との調整を十分に図り執行されたい。

(3) 県内初となる広域で設置した「あしがらジビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、特産品としての販売事業を展開されたい。

次のページへ行ってください。（４）国・県補助金等を財源に、里山や奥山の森林整備事業を積極的に推進されたい。「に」が１個あります。

委員長 「に」が２つだね。１個削除。

ただいま局長の朗読が終わりました。たたき台ということで提案させていただきますが、いかがでしょうか。

南雲委員 ２番の３行目のところ、昨年度と比較し、あれですね、主語がないので、「歳入は」ですか。歳入…。

委員長 事業だから、歳出だよ、これ。

南雲委員 歳出、ごめんなさい…え、歳出なの。歳出が減額。

平野委員 予算規模って書けばいいんじゃない。予算規模は…。

南雲委員 予算規模が。主語がないんですよ、ここ。

平野委員 主語はない。

内田委員 予算額だよな。

南雲委員 そうか、予算額ですね。

委員長 予算額は昨年と比較し。１点が、まずお諮りするの、附帯要件の前に、この４行か、これを、ここまで入れなくてもいいのかなという考えも私は一部あります。できれば、これ、ワンペーパーで見せたくて、後ろまで引っ張りたくないというのがあるんだけど。その辺の中で、この初めの入りのまくら言葉的なものをどうするかというのが１つです。

それと、４点あるんですけども、この４点を入れるかどうか。入れるとしたら、この文言でよろしいかと。そういうことでお諮りいたします。

初めに、前段の部分、南雲委員からお話のあった「予算額は昨年度と比較し」から４行目の「健全で持続可能な予算編成となっている」までをどうするかと。このまま入れるか、この部分を少し簡略化して、ワンペーパーでまとめるか。まずこれについてお願いいたします。

井上委員 この町債の予算額というのは、町債というのは事業に付随する部分なんですよ。だから、全体の事業費が減ればね。町債だけ増やすということは、あり得ないわけですよ。ここで最少となっているというのが、何を言いたいのかが

よく分からないので、どうなのでしょう。だから、…減額となって、松田小学校整備事業が完了したため、減少しているでいいんじゃないですか。減額じゃないでしょ。総額がでしょ。

委員長 減少している。

井上委員 「その中においても」につなげちゃって、いいんじゃないですかね。

平野委員 「しているが」ってつなげちゃう。

委員長 という意見だよな。減少しており、それでずっと取っちゃって、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全でということにつながらないかな。

井上委員 だから、そこでつなげちゃっていいんじゃないですか。

委員長 と読みますと、予算額は昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少しており、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれておりか、また「おり」になっちゃうな。

井上委員 「減少している」で「。」でいいんじゃないですか。

委員長 減少している。それで一回切る。

井上委員 「その中においても」でいいんじゃないですか。

委員長 そうだね。減少している。「その中においても」が生きだ。そこからそのまま生き、その中においても未来を見据えた。

内田委員 最後の1行が…2行か。

委員長 いいのいいの、その辺はちょっと無視してもらって。もう一度読みます。予算額は、昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少している。その中において「も」じゃなくて「おいて」だな。おいて、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。「その中において」、接続詞はどうだね。

平野委員 いいんじゃないですか。

井上委員 減少しているんだけどに対して、減少しているんだけど、その中でも特筆することは、ハード・ソフト事業が盛り込まれていますよという説明だから、いいんじゃないですか。

委員長 「その中において特筆することは」という言葉、入れますか。

平野委員 いない、いない。

委員長 「その中において未来を見据えた」でいいか。じゃあ、ここを固めます。予算額は、昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少している。その中において、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。

平野委員 その後、「なお」を「、」取っちゃって、後ろを「申し入れます」にすると、1行にならないですか。

委員長 ずっと文章続けちゃってね。

平野委員 なお予算執行に当たっては、次の事項について申し入れます。それで1行にならないかな。

内田委員 「なお」を取っちゃうのね。

平野委員 ならない。無理に取ることはない。

委員長 取りあえずこれはこれで、前段は仮置きで、これでいきます。また協議します。

(1) から (4) まで、これについて4項目入れるか、または削るか。それと文言。1、2は、いいと思うんですよ。1、2の、まず文言を固めましょう。もう一度、局長、ここ、1番、2番、朗読してください。

議会事務局長 (1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと納税の充実や人口減少対策など、財源の確保に努められたい。

委員長 これで一回切ります。どうですか、1番。

(「いいんじゃないですか。」の声あり)

では、取りあえず仮置きで、2番、お願いします。局長、2番、朗読をお願いします。

議会事務局長 (2) 新モビリティサービス推進事業は、高齢社会での交通対策として期待される事業だが、公共交通事業者との調整を十分に図り執行されたい。

委員長 これが2番です。いかがでしょう。

(「いいと思います。」の声あり)

では、3番。

南雲委員 すみません、1番なんですけど、2行目のところのね、減少対策などに取り組みって入れないと、何か文章がおかしいかなと。

委員長 などに取り組み。そうだね。ふるさと納税の充実や人口減少対策などに取り組み、財源の確保に努められたい。

議長 あとさ、2番の新モビリティサービスの2行目なんだけどさ、「として期待される事業だが」じゃなくて、「期待される事業であり」のほうがいいと思うんだけど。

委員長 「期待される事業だが」を「事業であり」。

平野委員 そのほうが前向きですね。

委員長 そうだな。「だが」だと、ちょっと否定しているようなあれになっちゃうからな。

では、3番、朗読をお願いします。

議会事務局長 (3) 県内初となる広域で設置した「あしがらジビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、特産品としての販売事業を展開されたい。

委員長 この3番、いかがでしょうか。

井上委員 事業内容がよく分からないけど、特産品としての販売事業を展開する予算って載っているんですけど。

委員長 予算は載ってない。ジビエ工場の管理運営費、電気料ともろもろの費用。

井上委員 特産品というのを、言葉をそこに入れちゃっていいのかなんですよ。

委員長 これは自分でちょっと入れた内容とすると、あそこで猟友会が自分で撃ったものを持ってきて解体するわけですよ。それが販売しないと回っていかない。この事業は回っていかない。そのためにこれを、あの施設を運営することによって、これをやってほしいという。予算そのものに対して付随する考えで入れさせてもらいました。その考えがいいかどうかだね。

平野委員 販売のところまではにらんでいる事業なので。

委員長 その施設を使って販売していくというのは、一つの目的だからさ。

平野委員 ただ、この特産品というところがね、そこまで言えるかどうかということで

しよ。

委員長 だからジビエを特産品として、今まで売れなかったわけですよ。あの施設がなかったから。施設ができたことによって、堂々と販売できるんですよ。解体した肉を。私との一般質問のやりとりでも、特産品として小田原、箱根の業者に売り込んだりだとか、ふるさと納税の返礼品として使っていくよというのを過去に答え頂いてますから、それを付随して入れさせていただいたと。造って終わりじゃなくて、次をしっかりとやってくれと。

井上委員 通常、特産品というとき、例えばそれを冷凍保存パックにしたとか、燻製にしたとか、そういう加工処理をね、したものを言うというイメージがあるわけですよ。だから、そこまでうたっちゃっていいのかなと。今の販売だから、それは例えば精肉としてね、での販売ということで、私は理解だったんだけど。

委員長 考え方として、ミンチとか真空パックにする機械、それをこの後買らしいんですよ。今、事業でやった三千ウン百万の執行残が残っていて、保健所の許可を取らないとそれが買えないらしいの。だから、取った後にはすぐその機械も年度中に買うという話を聞いています。そうすると、真空パックにできるわけですよ。そういう流れからして、入れさせてもらった。特産品という言葉が、少し整合性がなければ、ジビエ肉としての販売事業、ジビエ肉としての販売事業を展開されたい。このように改めると、つながってくるかなと。

井上委員 だから、そういうのを買ってやるんだという説明があればね、いいんだけど。とか予算に載っていればいいんだけど。

委員長 予算は、前年度予算、今年度。今年度の予算でそこまで買うんですよ。あの施設で見た中に、冷蔵庫とかあったでしょ。その備品の一環として許可が取れたら買うというふうな担当課の説明です。中野氏のほうで、ないじゃないかといったら、いや、許可取れるまで待ってください、年度中に買いますからって、そういうふうなお話をされてた。それが前年度で予算づけで終わった事業。今度は運営のための予算が出てる。そういった流れの中で予算づけされたもの、または今年の予算を併せてこういうふうな表現にさせていただきました。

平野委員 要するに販売まで見据えてくれよということをお願いしたいんだね。

委員長 自分としては、一番後ろの特産品でもいいし、ジビエ肉としての販売、この言葉が最後の目指すべき姿なんですよね。これで軌道に乗れば何とか。要するに運営については、肉を処理する運営は軌道には、内部の仕事だからできると思う。ただ、それで終わらせたなら次がないから、この言葉を入れた。

井上委員 じゃあ、そこはさ、軌道に乗せ販売事業を展開し、実績を上げられたいとかさ。

委員長 じゃあ、そうしようか。販売事業を展開し、実績を上げられたい。

井上委員 健全な運営をされてね。

委員長 その前に運営が出てるんだよな。管理運営という言葉が出てる。これでいいんじゃないか。販売事業を展開されたい。「特産品としての」だけ取っちゃう。管理運営を軌道に乗せ、販売事業を展開されたい。やっぱり何か前に欲しいな。軌道に乗せ、ペケペケ、販売事業を展開されたい。

内田委員 積極的に展開されたい。これ、「肉」って入れたほうがいいかもしれない。

委員長 な、肉だよな。

内田委員 何だか分からない。

委員長 ジビエ加工品でもいいのか。

平野委員 でも、加工品というと、またイメージついちゃうね。燻製にするのかなとかね。

委員長 じゃあおかしいな。そうだな。ジビエ肉でいいじゃないかな。どうですか、6番。

井上委員 いいんじゃないですか。例えば精肉とかジビエ肉とか。

委員長 え。

井上委員 精肉とかね。

委員長 精肉販売か。ジビエの精肉販売にする。ジビエの精肉販売。肉販売を、販売事業を展開されたい。ちょっとこれで行きましょう。ちょっともう一度局長、読んでみて。

議会事務局長 県内初となる広域で設置した「あしがらジビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、ジビエの精肉販売事業を展開されたい。

委員長 　　では、裏へ行きます。

議会事務局長 　　（４）国・県補助金等を財源に、里山や奥山の森林整備事業を積極的に推進されたい。

委員長 　　４番、いかがでしょうか。

井上委員 　　この里山と奥山の森林整備事業って、どういうこと。

議長 　　水源林整備委託料とか。

委員長 　　委託料の調査のあれ、あったでしょう。三百何十万の。あれは松田町内の全部の地権者に対して意向調査するわけですよ。

平野委員 　　３年かけてね。

委員長 　　そうすると、それは里山も奥山、要するに松田町の全体の森林という意味で、里山、奥山という表現してます。

井上委員 　　全体のとこ、町全体ので、いいんじゃないの。

委員長 　　じゃあ、松田…松田町域でいい。町域…。

井上委員 　　里山、奥山と言っちゃうとさ、どこか場所の定義的にね、奥山だったら寄のさ、下のほうだとか。

委員長 　　一部のように取られちゃうからね。では、松田町域全体の森林整備事業を展開、積極的に推進されたい。

南雲委員 　　ごめんなさい。あれって、所有者の部分だけを調査ですよ。

平野委員 　　私有林ということだね。

委員長 　　町は町でできるわけじゃん。町の自分のところは。町は結構それでやってるわけよ。あと、町以外に持っているところ、あるかな。

議長 　　県。

委員長 　　県とか、あとはそっちのあれだな。何とか組合。

議長 　　森林組合。

平野委員 　　国有林って、ないんだっけ。

議長 　　国有林、ない。

内田委員 　　森林組合だね。

井上委員 　　あとは法人があるんじゃない。鹿嶋製紙とかね。

委員長 ああ、そうだね。

平野委員 それも含めての調査なんでしょう。

委員長 そうそうそう。だから、全部含まれてるんだよ。そういう面では、松田町域全体なので。

平野委員 じゃあ、町内全域の森林整備事業だね。

委員長 町域にするか、町内。

平野委員 町内全域でいいんじゃない。

委員長 どうします。（「全部取っちゃうのは駄目ですか。」の声あり）

平野委員 全部取っちゃう。財源に森林整備事業をね。あっさりと。

委員長 まあ、なくてもいいのか。

議長 俺もそう考えたんだな。

委員長 そうだな、取っちゃうか。

内田委員 入ってなければ全部ということだよ。

議長 あとは自由に理解できるんだからね。

委員長 じゃあ、もう一度、取ったものを局長、確認で。

井上委員 何に、それで森林整備事業を推進をして、どうするのかというのをうたわないと。

平野委員 保全だよな。

井上委員 保全じゃないな。

平野委員 保全じゃない。利活用でもないでしょう。

井上委員 これは国の施策だから、だから、ひと・まちプランみたいに、そういうふう  
に今度、それをどうやって展開するのか。

平野委員 何とか制度があつて、手がつけられないやつは自治体がやるみたいなことを  
言ってたよね。

議長 目的はだから森林整備でしょ。

委員長 森林機能を維持するためとかさ、それが今、もう衰退してるわけでしょう。

議長 いや、そういう意味じゃないもの。これは何でこの補助金は調査しなきゃい

けないかといったら、意向調査というのはね、もうみんな山を持っていても、誰もできないわけよね。

委員 長 だから荒れてきているんでしょ。

議 長 だから、その持つてるものをどういうふうにしてもらいたいかって、例えば県に預けてね、あとを管理してもらおうとか、いろいろ方法があるわけよ。その意向調査だと思うよ。前、一回やってるんだよね。だから、水源林を守るための目的とか、そういうんじゃないんだよね。ただ、自分でもう手入れができなくなっちゃったから、じゃあ自分の持つてる森林をね、これからどういうふうにしてもらいたいのですかという、そういうふうな意向調査だからさ。

委員 長 だから、それは森林機能を保全するための事業でしょ。もう個人であれだから、駄目だったら町が代われるよ。森林機能を保全するために…ために…。

議 長 森林機能じゃないんだ、森林なんだよね。自分の持つてる森林に対して、これがどういうふうにしたいかという、そういう意向をね、調査するわけだから。

委員 長 調査をした結果、今度は町が代理でやって、その管理をできるわけでしょう。

議 長 いや、それは分からない。

委員 長 というふうに説明してたじゃない。やる気のない人は町でもできる。そういうための調査で…。

議 長 だけど、そうしたらその金はどこから。

井上委員 やれないんだ。

平野委員 本当だよね。財源どこから出てくるんだって。

井上委員 よっぽど場所のいいところとか、そういう森林整備で搬出が可能な、容易なところはいいんだけど。

議 長 人が入れなくて、もう雑木林みたいなね、そういう山だってあるわけだから。必ずしもきれいに植林した山ならいいんだけど。

平野委員 切り出せないと言われたら、もうそれまでなものな。

南雲委員 ここに書いてあるのが、森林の持つ多面的機能の保全を目的に、森林管理の方向性や整備方法について、森林所有者等の意向を把握するための調査費用となっていますよね。

井 上 委 員 何に書いてある。

平 野 委 員 概要じゃない。

南 雲 委 員 これ。

平 野 委 員 所信表明。

委 員 長 その辺の言葉でいいと思うんだよ。調査というのは、そのための手段だもの。

井 上 委 員 もう一回読んでみて。

南 雲 委 員 もう一回。はい。森林の持つ多面的機能の保全を目的に、森林管理の方向性  
や整備方法について、森林所有者等の意向を把握するための調査費。

議 長 何ページ。

南 雲 委 員 40ページです。あ、ごめんなさい。10ページ。

委 員 長 1,000万ぐらいかけて調査するんだよ。

平 野 委 員 3年間だからね。1年が三百何十万。

南 雲 委 員 そうですね、3年間ですって。

平 野 委 員 3年間で調査で…。

井 上 委 員 これはだから森林整備事業で森林の保全整備事業を推進されたいでいいんじ  
ゃないの。

委 員 長 森林の保存、（「保全」の声あり）保全・整備か。

平 野 委 員 ポツいらない。保全整備事業だな。

井 上 委 員 保全整備事業です。

南 雲 委 員 保全整備、はい。

委 員 長 そうするか。

平 野 委 員 積極的になりようがないと思うよ、調査3年終わるまで。

委 員 長 自分が一番言いたいのは…。

井 上 委 員 3年間積極的にやってもらえば。

委 員 長 自分が言いたいのは、この調査以外に机を買ったとかさ、あとは再生エネル  
ギーのほうに補助金やる。それは川下のことであって、できたものの使い方な  
んだよ。そうではなくて、その元となるものに力を入れないと、荒れ果ててし  
まうと。そういう再生利用できる材木もできない。机や椅子になる材料もとれ

ない。挙げ句の果てには熊さんがいっぱい里山に来ちまう。それが裏テーマなんですよ。

議 員 長 だから、それは一口で言うと森林整備に当たる。

委 員 長 そうですよ。だから、森林の保全整備でいいんじゃないの。この言葉で、もう一度読ませてもらうと、国・県補助金を財源に森林の保全整備事業を積極的に推進されたい。これで読めると思うよ。自分の言わんとすることはそういうことだから。

議 員 長 それでもいいんじゃないの。

委 員 長 どうですか、これで一回打って、もう一回再点検ということで、よろしいですね。取りあえず局長、もう一度打ってきてください。それで再チェックします。

(16時07分)

委 員 長 休憩を解いて再開いたします。

(16時14分)

それでは、局長のほうから、2番の審査内容の予算額からでいいです。

議 会 事 務 局 長 予算額は、昨年度と比較し、松田小学校整備事業が完了したため減少している。その中において、未来を見据えたハード・ソフト事業が盛り込まれており、健全で持続可能な予算編成となっている。

なお、予算執行に当たっては、次の事項について申入れをします。

(1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと納税の充実や人口減少対策などに取り組み、財源の確保に努められたい。

新モビリティサービス推進事業は、高齢社会での交通対策として期待される事業であり、公共交通事業者との調整を十分に図り執行されたい。

県内初となる広域で設置した「あしがらジビエ工房」の管理運営を軌道に乗せ、ジビエの精肉販売事業を展開されたい。

(4) 国・県補助金等を財源に森林の保全整備事業を積極的に推進されたい。  
以上です。

委 員 長 それで、先ほど話のあったふるさと納税の返礼品、これを入れればいいのかなど。

井 上 委 員 ここは返礼品じゃなくて、歳入だから、町税が減少しているから。

委 員 長 おう、そうか。そうだな。

井 上 委 員 ふるさと納税を…。

委 員 長 いいのか、これで。

井 上 委 員 ふるさと納税、例えばふるさと納税寄附金をさらに増収を図るとか、充実じやまずかったらね。

委 員 長 そうだな。ふるさと納税寄附金の…。

井 上 委 員 収入確保とか増収とか。

委 員 長 ふるさと納税…。

南 雲 委 員 寄附金の増収って、入らないかもしれない。

委 員 長 いや、もう入る入らないは無視していいよ。ふるさと納税の寄附金増収。「増収や」でいいのか。

平 野 委 員 ふるさと納税寄附金の増収や。

委 員 長 ふるさと納税寄附金の増収やだ。ちょっともう一度それで局長、最後読んでみてください。

議 会 事 務 局 長 (1) 町税が減少傾向にあるため、ふるさと納税寄附金の増収や人口減少対策に取り組み、財源の確保に努められたい。

委 員 長 いいな。いかがでしょうか。

(「結構です。」の声あり)

それでは、結構ですという意見出ましたので、以上、この報告書を13日の本会議で報告させていただきます。

本日は長時間にわたり御審査頂き、ありがとうございました。これをもちまして一般会計予算審査特別委員会を閉会させていただきます。御苦労さまでした。ありがとうございました。(16時18分)

この議事録は事務局が作成したものであるが、その正確なることを証するために署名いたします。

令和 年 月 日

一般会計予算審査

特別委員会委員長 田代 実